



新赴任医師の紹介

放射線科 診療部長 大畑 崇
おおはた たかし



所属学会	日本医学放射線学会 (JRS)
資格情報等	放射線科診断専門医 (JRS)、 放射線科専門医 (日本専門医機構)、 医師臨床研修指導医養成講習会 受講済み

採用前は2列CTしかない診療所の非常勤約7年。この間多くの人生経験を積む。元々の専門性は腹部と血管系で高め。当院は救急特に外傷多く整形領域を重視。整形を制する者は読影を制す、です。



テーマ

令和5年度 口腔ケア・嚥下リハビリチーム研修会 ～摂食時のポジショニングふたたび～ 「不安定な姿勢は不安を生む」

リハビリテーション科 理学療法士 加藤樹哉

講師：青森慈恵会病院 丹藤 淳 氏

7月5日(水)、一昨年・昨年に引き続き摂食・嚥下障害看護認定看護師である丹藤先生をお招きして研修会が開催されました。今年度も摂食時のポジショニングを中心に前半は講義、後半はポジショニングの実技を学びました。実技ではベッド・車椅子におけるそれぞれのポジショニングをより具体的にわかりやすく指導して頂きました。今年度は3時間の研修会だったのでより多くの参加者が実技を体験できたと思います。今回の研修に参加して、患者様の立場で食事介助をすること(誰のための介助なのか)、残っている機能を活用するポジショニングの重要性を再認識しました。これからも理学療法士として摂食時の姿勢を観察・介助して、一人でも多くの患者様が口から食べられるように、看護師や他のスタッフと協力していきたいと思いました。



中央病院 無料公開講座のお知らせ

市民あんしん生活活用講座 ～地域共生まるとケア～

「食べる」を支える医市連携
～青森は高齢者医療の先進地～

講師：東京大学大学院 イートロス医学講座特任准教授
当院総合診療科 米永一理 先生

日時：8月18日(金) 18:30～19:30

場所：当院正面エントランス・Web開催 (Zoom)

定員：各回50名(先着順)・Webは上限100アカウント

予約方法：右のQRコードから申込みいただくか、

メールに①氏名②連絡先(電話番号またはメールアドレス)

③参加方法(来場かZoomかどちらか)を記入のうえ

towada.renkei@gmail.com までお送りください。

問合せ：☎ ⑤121 (内 7644) (当院医療介護連携相談支援センター)



市民健康セミナー

日常生活における転倒予防

講師：リハビリテーション科 技師長心得 新谷亨

日時：8月24日(木) 16:00～17:00

場所：当院別館2階講堂(正面エントランスより入り、

2階渡り廊下で別館までお越しください)

予約：不要 ※講演後「骨粗鬆症予防の運動指導」を行います。

問合せ：☎ ⑤121 (内 3220) (当院業務課)

・駐車料金は200円です。・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止や変更になる場合がございます。ご了承ください。



第3回北海道青森相談支援フォーラム in 十和田 ～多職種で支えるがん患者さんの就労支援と両立支援～

がん相談支援センター 佐伯さつ子

7月15日（土）、十和田市文化センターにて第3回北海道青森相談支援フォーラム in 十和田が開催されました。このフォーラムは北海道がん診療連携協議会と青森県がん診療連携協議会のがん相談支援に携わるメンバーが合同で開催しており今年で3回目になります。本フォーラムは、青森県がん診療連携協議会相談支援部会長であります丹野弘晃管理者からの開会挨拶に始まり、北海道がんセンター院長加藤秀則先生に「がんになっても働きたい思いを多職種で支えよう」という演題でご講演いただきました。続いて「がん患者の就職・両立支援の実践報告」を北海道と青森県内の6施設の方々が発表した後、パネルディスカッションを行いました。パネルディスカッションではむつ総合病院地域医療連携室堀江聖子さんに座長を務めていただき、活発な意見交換が行われました。がんになっても働く患者さんを支えようと、北海道・青森県内の医師やがん専門相談員、ハローワークや青森県産業保健センター職員、ケアマネジャーの多職種44名が熱心に耳を傾けていました。コロナ感染症のため3年間延期になっていた本フォーラムは十和田の地で名残惜しい雰囲気の中幕を閉じました。来年からは、北海道と東北6県が合同で相談支援フォーラムを開催するため、今年が最後の北海道青森相談支援フォーラムとなりました。

丹野弘晃当院事業管理者
（左）北海道がんセンター
加藤秀則院長（右）



パネルディスカッションの様子



リレー・フォー・ライフ・ジャパン八戸

緩和ケアチーム 八重樫学

6月24日、4年ぶりに開催された、第8回リレー・フォー・ライフ八戸に、当院から9名が参加しました。このイベントは、がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合うことを通してがん征圧をめざすチャリティー活動です。今回は、開催場所を八戸のまちなか広場をメイン会場に、周辺をウォークし、よさこいやゴスペル、フラダンスなどのパフォーマンスや、開催を待っていたがんサバイバーの方々のトークショーなどもありました。街中での開催とあって買い物中の方などが興味を持って立ち寄る姿が見られました。このイベントをきっかけに一人でも多くの方に活動が広がることを願っています。来年度も参加し地域で力を合わせ活動して参ります。



会場の様子



外来担当医表 ※随時更新しておりますので、下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/old/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>